

2016 国際教養科 NEWS 2月

2年7組 卒論プレゼン表彰式(2/10)

今年度の2年7組国際教養科・卒業論文プレゼンテーションコンテストは1月24日・25日に決勝が行われ、見事一位に輝いたのは、脇阪詩乃さん、二位は眞田ハンナさん、三位は角菜央さんと南風原桃子さんの2名という結果になりました。表彰式が2月10日に教室で行われました。入賞者計4名と、ファイナルに残った生徒合わせて9名が表彰されました。



1位 脇阪さん



2位 眞田さん



3位 角さん



3位 南風原さん

第2外国語 一般開放講座 修了証授与式(2/14)

本校の第2外国語の箱清水地区一般開放講座では、本年度は中国語で2名の方が受講されました。1年目、2年目各お一人ずつの受講で、2月14日に校長室で了証書が授与されました。お二人とも大変熱心に受講され成績も優秀で、生徒にとっては大きな刺激となりました。来年度も引き続き開講いたしますので、さらに多くの地域の皆さんに受講いただければ幸いです。



講師の岩下先生（右）とともに

1の7 福井大学特別講義（2/28）

国際教養科特別授業として、福井大学国際地域学部・学部長の寺岡英男先生においでいただき、1年7組の生徒を対象に「グローバル人材育成の課題」というタイトルで講義をしていただきました。講義では、カカオ栽培における児童労働の話から、グローバル化が進む世界の中におけるESD（Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育）の必要性が述べられ、そのための福井大学国際地域学部での取り組みも紹介されました。



【生徒の感想から】

- ・チョコレートの背景に、学校に行くことのできない子ども達の労働があったと知ってとても深く考えさせられた。
- ・グローバル化が進んでいる中で、日本という国はこれからどのように世界の一員として歩いていくのか、私たちも人ごとにはできないなと再認識した。
- ・これからの社会は、日本でも英語がいっそう重要視されてくるし、海外留学や海外研修の経験も大切な財産になってくることがわかった。せっかく長野西高校の国際教養科に入学して、そういうことがたくさんできる環境にいるのでそのチャンスを無駄にしないように、異文化体験をしていきたいと思った。
- ・様々な大学や企業でグローバル化に合わせた改革がなされていて、より多く国際的な教養を身につけていかなければならないんだなと思った。